

## 成果と今後の行動計画

### 「女性の社会進出に関する政策協議」

女性の社会進出に関する政策協議運営委員会

2018年5月14日 テヘラン

#### I. これまでの経緯

- 笹川平和財団の田中会長とモラヴェルディ女性・家庭環境担当副大統領(当時)が 2015年8月に日本とイランの女性の社会進出に関する政策協議に関する共同事業を実施することで合意。
- これを受けて、2016年5月にテヘランに於いて「平和と持続可能な開発に果たす女性の役割」と題した第1回国際シンポジウムを開催し、その後の行動指針となる文書「Scope for Future Collaboration」を採択した(添付資料)。
- この文書に基づいて、2017年2月に東京に於いて「経済力としての女性と協力」と題した第2回国際シンポジウムを開催。この時に本女性事業のガバナンス及びその研究活動の構造について定めた新たな文書「Way Forward」を発表(添付資料)。
- これに基づき、イランと日本の共同研究チームが、2国間の「女性起業家に関する比較研究:実践と課題」と題した研究活動を実施。この中間報告が本日10時半より開催されるワークショップで発表される。

#### II. 2018年以降の行動計画

1. イランと日本の共同研究テーマ
  - 1) 「女性起業家に関する比較研究:実践と課題」(継続)
  - 2) 「女性のICT教育や実践と経済効果」(新)
  - 3) 「文化・観光分野での交流促進」(新)
2. 第3国での事業発表と発信活動